



(題字 時澤 貢 学長)

第410号
(平成11年 2月号)



▲ 節分寒波 (平成11年 2月 3日朝 : 事務局前)

目 次

関係法令	3	学内諸報	
学内規則	3	◆ 学部長の改選（教育学部長，理学部長，工学部長）	9
諸会議	4	◆ 大学改革に関する講演会を開催（附属図書館）	10
学 事		◆ 海外渡航者	11
◆ 文部省在外研究員及び内地研究員派遣者の決定	5	職員消息	
◆ 入学者選抜個別学力検査（前期日程）を実施	6	◆ 新任者住所	11
人事異動	8	◆ 訃 報	12
		主要行事	13

関 係 法 令

(規 則)

- 人事院規則9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(人事院9-49-11)
(平11. 2. 8 官報第2561号)
- 人事院規則9-55(特勤手当等)の一部を改正する人事院規則(同9-55-48)(同上)

(告 示)

- 大学入試に関し文部大臣が個別に指定した専修学校の高等課程についてその名称を平成7年4月1日から変更した件(文部30)(平11. 2. 10 官報第2563号)

学 内 規 則

富山大学学長補佐設置要項の制定

富山大学学長補佐設置要項の制定理由

本学における大学運営の円滑化を図るため、学長の職務を補佐する学長補佐を置き、その任務、選考等について必要な事項を定める。

富山大学学長補佐設置要項を次のとおり制定する。

平成11年2月19日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学学長補佐設置要項

平成11年2月19日制定

(設 置)

第1 富山大学(以下「本学」という。)における大学運営の円滑化等を図るため、学長補佐2人を置く。

(任 務)

第2 学長補佐は、次の各号に掲げる事項をつかさどる。

- (1) 学長から指示された具体的な事項
- (2) 別に定めるところによる全学委員会の委員長等の職務

(選 考)

第3 学長は、本学の専任教授のうちから学長補佐を指名し、評議会の承認を得る。

(任 期)

第4条 学長補佐の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の任期は、学長の任期の範囲内とする。

3 任期の途中で学長補佐の交替があった場合、後任の学長補佐の任期は、前任者の残任期間とする。

(その他)

第5 この要項に定めるもののほか、学長補佐に関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この要項は、平成11年2月19日から実施する。

諸 会 議

第3回留学生センター設置準備委員会（2月2日）

（審議事項）

- (1) 教員人事の方針等について
- (2) センターの設置場所について
- (3) センターに係る規則等について
- (4) センター長候補者の推薦方法等について
- (5) その他

第4回将来計画委員会（2月4日）

（審議事項）

- (1) 本学の理念について
- (2) その他

第4回学園ニュース編集委員会（2月8日）

（審議事項）

- (1) 第99号の編集内容について
- (2) 新しい名称について
- (3) その他

第5回入学試験実施委員会（2月9日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度富山大学入学者選抜学力検査実施要項及び整理細目について
- (2) 平成11年度富山大学入学者選抜学力検査の検査場について

第4回総合情報処理センター運営委員会（2月15日）

（審議事項）

- (1) 富山大学総合情報処理センターが運用管理する端末装置を有する各部局サテライト端末室利用内規（案）について
- (2) 富山大学総合情報処理センター利用負担金に関する内規（案）について

第4回留学生センター設置準備委員会（2月16日）

（審議事項）

- (1) センターに係る規則等について
- (2) センター長候補者の推薦について
- (3) その他

第10回事務協議会（2月16日）

（議 題）

当面の諸課題について

第12回部局長懇談会（2月19日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第14回評議会（2月19日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学長補佐設置要項の制定について
- (2) 富山大学水素同位体科学研究センターの設置準備について
- (3) 富山大学の理念について
- (4) その他

第1回国際交流会館運営委員会（2月19日）

（議 題）

- (1) 入居者の選考について
- (2) その他

第7回教務委員会（2月22日）

（審議事項）

- (1) 転学部・転学科制度の改善について
- (2) 多様な学生像に対応した教育システムの確立について

第6回教養教育委員会（2月24日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度教養教育経費の執行について
- (2) 平成11年度教養教育におけるTA利用について
- (3) 平成11年度教養教育非常勤講師任用計画（案）の一部変更及び資格審査について

第4回学寮委員会（2月24日）

（審議事項）

- (1) 寮生からの要求等について

第6回環日本海地域研究センター運営委員会（2月24日）
（協議事項）

- (1) 富山大学環日本海地域研究センター長の推薦について
- (2) その他

(2) 水素同位体科学研究センターのセンター長及び教員選考規則（案）について

- (3) 水素同位体科学研究センター長候補者の推薦について
- (4) 水素同位体科学研究センター教員候補者の推薦について

第5回水素同位体機能研究センター運営委員会

（議題）（2月24日）

- (1) 水素同位体科学研究センター規則（案）について

(5) 職員の併任について

- (6) その他



平成11年度 文部省在外研究員派遣者の決定

種類	所属	職名	氏名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関	調査研究題目	派遣期間
若手	工学部	助手	岡根 正樹	インディアナポリス（アメリカ合衆国）Purdue大学	多機能表面創製によるフレットインク疲労特性の改善に関する基礎的研究	11. 10. 1 / 12. 7. 31
長期（甲種）	経済学部	教授	飯田 剛史	バンクーバー（カナダ）ブリティッシュコロンビア大学	北米諸地域におけるアジア系移民社会形成と民族関係の展開に関する研究	11. 8. 25 / 12. 6. 24
	工学部	教授	吉村 敏章	ツーソン（アメリカ合衆国）アリゾナ大学	有機硫黄化学に関する研究	11. 7. 1 / 12. 4. 30
短期	教育学部	教授	清水 建次	ストラスブール（フランス）ルイ・パスツール大学	希土類金属間化合物の磁性に関する研究	11. 9. 1 / 12. 10. 31
	工学部	教授	塩澤 和章	エドモント（カナダ）アルバータ大学	表面創製による疲労信頼性向上に関する研究	11. 7. 26 / 12. 9. 25

平成11年度 文部省内地研究員派遣者の決定

所 属	職 名	氏 名	受 入 機 関	研 究 題 目	派 遣 期 間
人文学部	教 授	梅村智恵子	甲子園大学 人間文化学部	アイデンティティの二重規範と世論操作 (情報のコード化)の実証的研究	11. 5. 6 } 12. 2. 29
人文学部	教 授	富田 正弘	東京大学 史料編さん所	筆跡・料紙の鑑定等による東寺旧蔵古文 書群の形成過程の復原	11. 5. 6 } 11. 11. 5
経済学部	助教授	浅井 尚子	名古屋大学 法学部	人身被害の法的救済	11. 5. 6 } 11. 11. 5
理学部	助 手	幸山 直人	京都大学 大学院人間・環境学研究科	計算機を用いた非合同部分群についての 研究	11. 5. 6 } 12. 2. 29

平成11年度 富山大学入学者選抜個別学力検査（前期日程）を実施

平成11年度入学者選抜前期日程の個別学力検査等が、去る2月25日（木）に各学部検査場で実施されました。

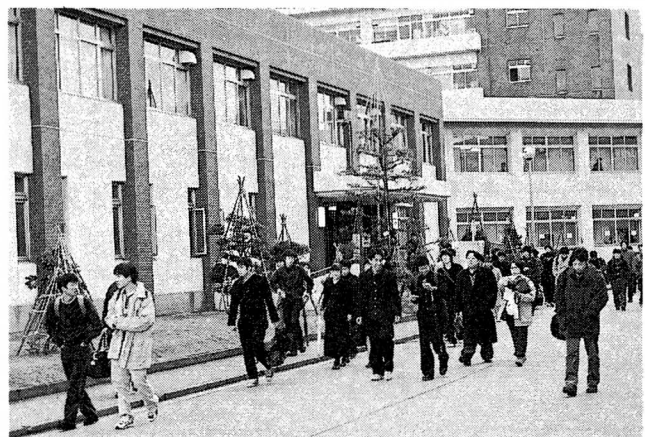
当日は、曇り空ながら交通機関の遅滞もなく、試験開始2時間前にはすでに受験生の姿が見え始め、受付開始の午前9時には、各学部入口の前は受験生でいっぱいとなり検査は予定どおり実施されました。

前期日程の志願者数（個別学力検査を課さない経済学部夜間主コースを除く。）は3,292人、受験者数は3,110人（欠席者182人）で受験率は94.5%でした。また、私費外国人留学生も27人が受験しました。

なお、前・後期日程及び私費外国人留学生の入学志願者数は、次表のとおりです。



▲ 試験開始を待つ受験生（教育学部検査場）



▲ 試験を終え帰路につく受験生（工学部前）

平成11年度 入学志願者数調

学部	学科・課程		平成11年度									備考
			前期日程			後期日程			全日程			
			募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	
人文学部	人文学科		42	189	4.5	15	120	8.0	57	309	5.4	
	国際文化学科		32	107	3.3	12	93	7.8	44	200	4.5	
	言語文化学科		51	247	4.8	20	196	9.8	71	443	6.2	
	学部計		125	543	4.3	47	409	8.7	172	952	5.5	
教育学部	養成課程 学校教育教員	学校教育系	22	41	1.9	9	85	9.4	31	126	4.1	
		障害児教育系	6	14	2.3	3	25	8.3	9	39	4.3	
		言語・社会系	20	69	3.5	9	55	6.1	29	124	4.3	
		自然・生活系	20	45	2.3	8	53	6.6	28	98	3.5	
		芸術・体育系	15	63	4.2	7	83	11.9	22	146	6.6	
	総合 課程 教育	情報教育コース	10	30	3.0	4	50	12.5	14	80	5.7	
		環境教育コース	4	13	3.3	3	25	8.3	7	38	5.4	
		生涯スポーツコース	4	15	3.8	3	37	12.3	7	52	7.4	
学部計		101	290	2.9	46	413	9.0	147	703	4.8		
経済学部	昼間 主 コース	経済学科	100	381	3.8	31	269	8.7	131	650	5.0	
		経営学科	76	294	3.9	24	136	5.7	100	430	4.3	
		経営法学科	64	416	6.5	20	229	11.5	84	645	7.7	
		計	240	1,091	4.5	75	634	8.5	315	1,725	5.5	
	夜間 主 コース	経済学科	2	22	11.0	4	19	4.8	6	41	6.8	
		経営学科	2	39	19.5	5	28	5.6	7	67	9.6	
		経営法学科	2	40	20.0	5	29	5.8	7	69	9.9	
		計	6	101	16.8	14	76	5.4	20	177	8.9	
学部計		246	1,192	4.8	89	710	8.0	335	1,902	5.7		
理学部	数学科		28	158	5.6	6	40	6.7	34	198	5.8	
	物理学科		26	51	2.0	6	29	4.8	32	80	2.5	
	化学科		27	91	3.4	7	82	11.7	34	173	5.1	
	生物学科		23	104	4.5	5	76	15.2	28	180	6.4	
	地球科学科		29	77	2.7	9	77	8.6	38	154	4.1	
	生物圏環境科学科		19	71	3.7	5	62	12.4	24	133	5.5	
	学部計		152	552	3.6	38	366	9.6	190	918	4.8	
工学部	電気電子システム工学科		55	110	2.0	18	165	9.2	73	275	3.8	
	知能情報工学科		46	134	2.9	16	201	12.6	62	335	5.4	
	機械知能システム工学科		54	264	4.9	18	141	7.8	72	405	5.6	
	物質生命システム工学科		97	270	2.8	31	127	4.1	128	397	3.1	
	計		252	778	3.1	83	634	7.6	335	1,412	4.2	
	専 門 学 科 卒 業 生 選 抜 合	電気電子システム工学科	2	7	3.5	—	—	—	2	7	3.5	
		知能情報工学科	2	17	8.5	—	—	—	2	17	8.5	
		機械知能システム工学科	2	7	3.5	—	—	—	2	7	3.5	
		物質生命システム工学科	2	7	3.5	—	—	—	2	7	3.5	
	計		8	38	4.8	—	—	—	8	38	4.8	
学部計		260	816	3.1	83	634	7.6	343	1,450	4.2		
合計		884	3,393	3.8	303	2,532	8.4	1,187	5,925	5.0		

平成11年度 私費外国人留学生入学志願者数調

学部・学科・課程		志願者数	備 考	学部・学科・課程		志願者数	備 考		
人文学部	人 文 学 科	3人		理 学 部	数 学 科	0人			
	国 際 文 化 学 科	1			物 理 学 科	0			
	言 語 文 化 学 科	0			化 学 科	0			
	計	4			生 物 学 科	0			
教 育 学 部	養 成 課 程	学 校 教 育 系	0		地 球 科 学 科	0		計	0
		障 害 児 教 育 系	0		生 物 圏 環 境 科 学 科	0			
		言 語 ・ 社 会 系	0		計	0			
		自 然 ・ 生 活 系	0		工 学 部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科			2
		芸 術 ・ 体 育 系	1			知 能 情 報 工 学 科			2
	課 合 教 育 程	情 報 教 育 コ ー ス	0			機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科		4	
		環 境 教 育 コ ー ス	0	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科		0			
		生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	0	計		8			
	計	1	合 計	32					
	経 済 学 部	昼 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	5	参 考 : 志 願 者 の 国 別 内 訳 中国 27人, 韓国 2人, マレーシア 2人, ヴェトナム 1人				
経 営 学 科			11						
経 営 法 学 科			3						
計			19						

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	11. 3. 1	廣林 茂樹	助 手 金沢大学工学部	講 師 工学部 (知能情報工学科知能システム工学)
退 職	11. 2. 13	高桑 幸子	教 諭 (教育学部附属養護学校)	平成11年2月12日限り任期満了により退職
	11. 2. 20	近藤 俊彦	事務補佐員 (附属図書館情報サービス課情報サービス係)	平成11年2月19日限り退職
	〃	高山 恭一	〃	〃
	〃	油井 晶代	〃	〃
	〃	熊谷さおり	〃	〃
	〃	島先 厚至	〃	〃
	〃	大橋 正浩	〃	〃
	〃	中根 一剛	〃	〃
	〃	加藤 奏	〃	〃
	11. 3. 1	渡邊 美佳	教務補佐員 (人文学部・理学部化学科)	平成11年2月28日限り退職
育児休業	11. 2. 13	脊戸みちる	教 諭 (教育学部附属養護学校)	職務復帰

学 内 諸 報

学 部 長 の 改 選

＜教育学部長に塚野教授を選出＞



田中晋教育学部長の任期が、平成11年3月30日で満了することに伴い、教育学部教授会は、去る2月17日(水)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、塚野州一教授が選出されました。任期は、平成11年3月31日から2年間。

塚野教授は、昭和40年3月東京学芸大学学芸学部を卒業、同43年3月東北大学大学院教育学研究科修士課程を修了、同45年11月東北大学大学院教育学研究科博士課程を退学後、同年同月東北大学教育学部助手に採用となり、同49年4月富山大学教育学部講師、同51年5月同助教授を経て、平成元年4月同教授となり、平成7年3月から評議員を併任され、現在に至っています。

専門は、発達心理学。心理学博士（筑波大学）。新潟県出身。

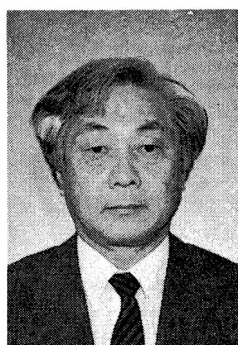
（就任の抱負）

教育学部は、平成9年度に続いて平成11年度にも改組を行い、従来の2課程から、新たに学校教育教員養成課程、生涯教育課程、情報教育課程としてスタートをいたします。また、教育職員免許法の変更に伴い、カリキュラムも改めます。さらに、全学的には大学審議会の答申に対応した教育改革が進行しています。

このような変動の時期にあたり学部の運営を考えたとき、学部の全スタッフの衆知を集めることがとりわけ大切で、それには、改革に関係した情報を正確に早くつかみ、学部の先生方に提示することが欠かせないと考えます。

本学部の多様な分野や領域で、教育に係わる質の高い人材養成という目的は、生涯学習社会を迎えて、ますます重要になっているはずで、その目的達成のために、まず学部の全スタッフの潜在力を引き出す条件整備に務めたいと考えています。

＜理学部長に廣岡教授を選出＞



風巻紀彦理学部長の任期が、平成11年3月31日で満了することに伴い、理学部教授会は、去る2月17日(水)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、廣岡公夫教授が選出されました。任期は、平成11年4月1日から2年間。

廣岡教授は、昭和36年3月京都大学理学部地質学鉱物学科を卒業、同38年3月京都大学大学院理学研究科修士課程を終了後、同年10月大阪大学基礎工学部助手に採用となり、同46年1月福井大学教育学部助教授、同53年4月富山大学理学部教授となり、平成9年5月から評議員を併任され、現在に至っています。

専門は古地磁気学。理学博士（京都大学）。大阪府出身。

（就任の抱負）

岩石や土がもつ残留磁化を読み取って、それに記録されている昔の地磁気を調べてきました。20億年前から幕末・明治まで、時間軸を行ったり来たりして、いろいろな時代の地磁気の変動を調べてまいりました。沢山の興味深い測定データがたまっておりまして、それらをこれからまとめようとしていた矢先に、学部長という大役を仰せつかり当惑しているというのが実情です。また、大学改革や独立法人化の問題など、この大変な激動の時期をどうしたら乗り切れるのか、大変重い責任を感じています。

幸い、前任の風巻紀彦先生をはじめ、歴代の学部長の先生方の御努力で、理学部は着々と充実して参り、念願であった理工学研究科博士後期課程も昨年発足しました。今後の課題は、校舎の改築をはじめとして、研究・教育

の環境整備とそのより一層の質的向上であると思います。新しい世紀に向かって、基礎科学の充実を目指して努力して参る所存ですので、理学部の皆様はもとより、大学をあげて、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

＜工学部長に宮下教授を再選＞



宮下尚工学部長の任期が、平成11年4月1日で満了することに伴い、工学部教授会は、去る2月17日(水)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、宮下尚教授が再選されました。任期は、平成11年4月2日から2年間。

宮下教授は、昭和36年3月同志社大学工学部を卒業後、同年5月京都大学助手、同43年4月富山大学工学部助教授、同62年4月同教授となり、平成6年4月から同9年3月まで評議員、同9年4月から工学部長を併任され、現在に至っています。

専門は、移動現象(伝熱工学)。工学博士(京都大学)。富山県出身。

(就任の抱負)

これから2年間、工学部長として続投することになりました。

1期目には勢い余って、工学部の将来に夢や目標を抱

き、創造性とチャレンジ精神を存分に発揮できるようなフレッシュな若者を世に送り出したい旨のことを語ったと思います。そして、そのためには研究・教育、管理・運営の環境は十分ではないので、その整備に少なからず貢献したいことも記しました。お蔭様で先輩や同僚の先生方、そして事務職員の皆様方のご支援を賜り、多少は前進し、改善の兆しが見えてきたかなあと思っております。しかしながら、まだまだやるべきことが山積しており、さらに怒涛のごとき改革の波が押し寄せてきております。21世紀に向けての教育環境には大変厳しいものがあり、大学全体で考えていかなければならないものばかりですが、工学部は、21世紀の教育状況を踏まえ、前向きに対処していき、大学の生き残り、更には大学の勝ち残りを模索していきたく思っています。

昨年4月に大学院博士課程が理工学研究科となり、富山大学では初めて2学部に跨がって教育・研究を進めることになりました。理学部と共生して科学技術の進展に、地域社会の発展に協力をしていくべきと考えております。

皆様のご協力を仰ぎながら全力で努力する所存ですので、これからもよろしくお願いたします。

大学改革に関する講演会を開催

附属図書館では、去る2月22日(月)図書館職員を対象に、「大学図書館における組織・機構の改善」と題して講演会を開催しました。

この講演会は、組織機構の簡素化・効率化を図り、新たな学術情報流通環境の変化に対応した図書館運営の在り方を探るもので、講師に筑波大学図書館部内藤英雄情

報管理課長を迎え、25人が出席し、1時間30分にわたる講演を熱心に聞き入り、大学改革に関する認識を深めることができました。

なお、来る3月1日(月)には「大学改革と21世紀の図書館」と題した講演会を予定しています。

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職 名	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	教育学部	教 授	奥 村 義 雄	ア メ リ カ 合 衆 国	「地方都市における階級・階層構造と地域的・社会的移動の実証的研究」についてレビューを受けるため	11. 2.24 / 11. 3. 8
	理 学 部	教 授	小 林 武 彦	ア メ リ カ 合 衆 国	溶岩流の形態解析のワークショップに出席，研究打合せ	11. 2.28 / 11. 3. 6
	水素同位体機能研究センター	教 授	渡 辺 国 昭	ド イ ツ	トリチウム廃棄物の処理処分に関する調査研究	11. 2.28 / 11. 3.14
海外研修	工 学 部	助教授	西 村 克 彦	オ ー ス ト ラ リ ア	低温核偏極による希土類金属間化合物の磁性研究	11. 2. 4 / 11. 2.13
	人文学部	外国人教師	ロゴズナヤ ニーナ	ロシア連邦，イタリア	イルクーツク大学，ロシア語研究所等における調査・研究等	11. 2.12 / 11. 3.12

職 員 消 息

〈新任者住所〉

部 局 名	職 名	氏 名
教 育 学 部	臨時用務員 (附属学校炊婦)	松 井 輝 代
経 済 学 部	講 師 (比較経済論)	堀 江 典 生

訃 報

富山大学名誉教授 桑田秋水氏逝去



本学名誉教授桑田秋水氏が、平成11年2月5日に逝去されました。享年97歳。

同氏は、大正14年3月京都帝国大学理学部化学科を卒業し、同年同月兵庫県御影師範学校教諭心得となり、同年9月兵庫県御影師範学校教諭、同15年1月富山高等学校教授を歴任し、昭和24年5月富山高等学校の富山大学包括に伴い、同年6月富山大学講師兼職、同25年3月富山大学文理学部講師、同37年11月同教授となり、同42年3月31日限り、停年により退職され、同年5月本学発展のために尽力した功績により、富山大学名誉教授の称号が授与されました。

富山大学退職後は、金沢経済大学教授に招聘され、同大学附属図書館長に就任、同57年3月31日同大学を退職し、同年4月同大学の発展に尽力した功績により、金沢経済大学名誉教授の称号が授与されました。

この間、多年にわたり高等教育に貢献した功績により、昭和47年11月3日勲三等旭日中綬章が授与されました。

また、大正14年兵庫県御影師範学校に奉職以来、57年の永きにわたり、教育・研究に一身を奉じ、卓越した教育者・研究者として信頼と尊敬を受け、豊かな学識と深い温情をもって学生の教育と指導にあたり、数多くの有為な人材の育成に貢献されました。

さらに、教育行政面にあつては、昭和40年6月から同42年3月までの2年間評議員を併任し、本学の管理運営に尽力されました。また昭和42年4月金沢経済大

学教授に就任と同時に同大学附属図書館長を兼務し、同48年3月までの6年間同学園の教育理念である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を広く深く浸透させるとともに、創設期にあった同大学図書館の充実に尽力し、今日の同学園の基盤づくりに貢献するなど私学振興にも貢献されました。

一方、研究分野は、主として重金属イオンの微量定量方法の開発研究であり、カドミウムの間接比色定量及び銀の間接比色定量の研究を行い、定量方法の開発に寄与されました。さらに、ⅡB族塩化物の水溶液のラマンスペクトルやモノ及びジフルオロ、リン酸アンモニウムの赤外線吸収スペクトルの研究を行い、化合物の構造研究に尽力されました。また、多年にわたる教育の経験に基づき、大学の一般教育における化学教育について、一般教育課程における学生の化学に対する理解力を高校次代における選択科目と関連づけ、また大学における学生の所属学部とも関連づけて考察し、今日の化学教育の在り方に重要な示唆を与えられました。

他方、その専門分野における社会的活動にも見るべきものが多く、富山県危険物取扱主任試験委員会委員及び富山市安全協会顧問として災害防護に力を尽くし、特に、火災予防の普及、安全管理意識の高揚に多大の貢献をなし、その功績により、昭和44年7月消防庁長官表彰（多年火災予防の普及等に尽力した功績）、同45年11月富山県知事表彰（危険物行政の基礎を確立し、試験委員として試験の充実向上に努め、安全管理意識の高揚、消防科学の向上等、火災防護に尽くした功績）、同年同月富山市長表彰（永年にわたり危険物取扱主任者の育成及び危険物行政の基礎確立に尽くした功績）、同46年7月内閣総理大臣表彰（安全思想の普及徹底及び安全水準の向上に顕著な功績）を受賞されました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 2月1日 第8回大学改革推進委員会教員人事専門委員会
第7回教養教育委員会企画専門委員会
- 2日 北陸地区施設部課長事務連絡会議（金沢大学）
第9回大学改革推進委員会教員人事専門委員会
- 3日 教養教育委員会3専門委員長打合せ
施設部課長連絡会（名古屋工事事務所）
就職に関する講演会
- 5日 学内会計監査（工学部，地域共同研究センター）
国立大学学生部長・学生指導担当副学長会議
（東海大学）
介護等体験実施富山県連絡協議会（富山県民
会館）
- 8日 学内会計監査（人文学部，理学部）
- 9日 学内会計監査（教育学部，経済学部）
- 10日 学内会計監査（事務局，附属図書館）
大学開放担当課長会議（国立オリンピック記
念青少年総合センター）
- 12日 第7回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
- 17日 教務委員会・学生生活協議会合同委員会
- 18日 第8回大学改革推進委員会管理運営専門委員会
第11回教養教育推進特別委員会
中部地区研修担当官会議（名古屋合同庁舎）
- 19日 第2回教養教育委員会管理運営専門委員会
第14回国際交流委員会留学生部会
パソコン講習会
- 22日 第10回大学改革推進委員会教員人事専門委員会
- 23日 第5回セクシュアル・ハラスメント等対応検
討委員会

人 文 学 部

- 2月5日 教授会
学部将来計画委員会
学部公開講座委員会
- 8日 独立大学院研究科（博士課程）設置に関する
人文学部と経済学部の合同委員会
- 10日 教授会

教授会（人事）

研究科委員会

人文学部長候補者選挙管理委員会

19日 学部予選委員会（持ち回り）

24日 教授会

教授会（人事）

研究科委員会

25日 人文学部長候補者選挙管理委員会

教 育 学 部

- 2月3日 学部予算委員会
附属小学校入学者第2次選考（抽選）
- 4日 附属中学校入学者第2次選考（抽選）
- 5日 後学期授業終了
- 10日 平成11年度大学院教育学部研究科入学者選抜
試験（第2次募集）
学部将来計画委員会
教育実習検討委員会
- 12日 学部教務委員会
- 17日 学部入学試験委員会
研究科委員会小委員会
研究科委員会
学部長候補者選挙
教授会
- 19日 教育学研究科合格発表（第2次募集）
附属養護学校教育実践研究会
- 22日 拡大教育実習検討委員会
教育実習検討委員会
- 24日 学部将来計画委員会

経 済 学 部

- 2月8日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会
- 10日 人事教授会
研究科委員会
教授会
- 17日 生涯学習・広報委員会
- 19日 情報処理委員会
- 22日 学部教務委員会

学部入学試験委員会
 23日 学部国際交流委員会
 将来構想等検討委員会
 人事教授会
 研究科委員会
 教授会
 24日 図書等委員会

附 属 図 書 館

2月22日 大学改革に関する講演会

地域共同研究センター

2月1日 大学院生教育講座
 8日 地域共同研究センター運営委員会

理 学 部

2月3日 学部教務委員会
 9日 学科長会議
 17日 教授会
 理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会（人事）
 理工学研究科博士後期課程部会
 22日 学部予算委員会
 学科長会議

生涯学習教育研究センター

2月9日 第3回公開講座専門委員会
 23日 第4回公開講座専門委員会

総合情報処理センター

2月8日 企画運営専門委員会

工 学 部

2月2日 学部施設整備委員会
 3日 機器分析センター運営委員会
 8日 学部教務委員会
 9日 平成11年度大学院理工学研究科博士後期課程
 入学試験（第2次募集）
 9～10日 平成11年度大学院理工学研究科博士前期課程
 入学試験（第2次募集）
 10日 教授会
 教官懇談会
 17日 機器分析センター運営委員会
 教授会（学部長候補者選挙）
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会
 19日 理工学研究科合格発表（第2次募集）
 26日 学部カリキュラム検討小委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 あけぼの企画株式会社
 富山市住吉町1丁目5-18
 電話 (24)1755(代)